

知床エコツーリズム戦略の見直しの方針と構成案

1. 遺産管理計画の見直しを踏まえたエコツーリズム戦略への反映

改訂遺産管理計画案では、知床エコツーリズム戦略を遺産管理計画の下位計画に位置づけることを規定している。改訂遺産管理計画案の項目を踏まえ、エコツーリズム戦略においても記載事項の見直しを行う。

2. エコツーリズム戦略への反映事項

- ① エコツーリズム戦略の位置づけの明確化
 - ・遺産管理計画の下位計画であることを規定し、位置付けの明確化を図る
- ② エコツーリズム戦略の構成の見直し（別紙1）
 - ・現在のエコツーリズム戦略は、ガイドラインや推進計画等の要素があり全体的な構成がわかりにくいとの指摘がある
 - ・長期ビジョンのパートと戦略のパートの2部構成にすることで、エコツーリズム戦略のわかりやすさを追求する
 - ・知床の価値の共通理解を促進するため、IP全体計画の要素を「8. 良質な自然体験の提供」として追加する
 - ・上記に加え、「ゾーニング規定」、「リスクマネジメント」の項目を追加することを中心に見直しを進める
- ③ ゾーニング規定の追加
 - ・改訂遺産管理計画案では、「エコツーリズム戦略において、地区毎の自然環境と利用施設の状況等を踏まえたゾーニングを規定すること」を規定している
 - ・観光利用のゾーニングを基本とし、IP全体計画で整理する「良質な自然体験が提供できる場所」や「ゾーニングとイメージ（案）」（2018年地域合意）との調整を図る
- ④ 「良質な自然体験の提供」に関する項目の追加
 - ・改訂遺産管理計画案では、「遺産地域が有する価値をわかりやすいストーリーとして整理すること」を規定している
 - ・上記を踏まえて作成されるIP全体計画の構成要素を念頭に、知床の価値や来訪者に伝えたいメッセージ、来訪者に望まれる体験をエコツーリズム戦略に反映し、エコツーリズム戦略自体が知床の価値の共通理解を促進する機能も併せ持つように見直す
- ⑤ 「リスクマネジメント」に関する項目の追加
 - ・斜里町のアクティビティリスク管理と整合性を図った上で、リスク管理について記載する
 - ・観光船事故の教訓を踏まえた安全対策の理念を中心に盛り込む

- ・斜里町のリスク対応事務局の取組みについて、半島全体への拡大可能性や両町での取扱いについて調整が必要である

⑥ 既存計画の整理・統合

- ・これまで作成された利用適正化計画やエコツーリズム推進計画などが階層的に整理されていない。その関係性を明確にするとともに、整理・統合を進める
- ・整理統合の検討経緯と結果は「エコツーリズム戦略 付属資料」に反映する

3. 戦略の実行体制及び適正利用・エコツーリズム検討会議のあり方

- ・10年に及ぶエコツーリズム戦略の運用を総括した結果、提案制度を中心とした戦略の実行体制や会議の運営に関係する課題が明らかになった
- ・実施体制や会議の運営の具体的な運用規則として、「エコツーリズム戦略 事務取扱要領」があり、これを見直す
- ・事務取扱要領の見直しは、具体的な事例を基に検討することが有効であるため、エコツーリズム戦略の改定後に着手する
- ・「運用課題」と「エコツー戦略の反映」と分けて議論する

4. 見直しスケジュール

	2025 年度	2026 年度
エコツーリズム戦略の見直し	エコツーリズム WG(6 月頃)での意見を踏まえ、2 回のエコツーリズム検討会議(11 月、2 月頃)で見直し内容を確定する。	パブリックコメントを経て第 2 期戦略を確定
実施体制・検討会議の運用(事務取扱要領)の見直し	運用課題に関する検討	具体的な事例を基に事務取扱要領の見直しを行なう

知床エコツーリズム戦略の構成の見直し（案）

現行	見直し（案）
1. はじめに	1. はじめに
2. 戦略の目的	2. 戦略の目的
3. 現状と課題 （1）観光やエコツーリズムの現状と経緯 （2）現在生じている課題 （3）今後予想される課題	3. 現状と課題 （1）観光やエコツーリズムの現状と経緯 （2）現在生じている課題 （3）今後予想される課題
4. 既存の法律、制度、ルール	4. 既存の法律、制度、ルール
5. 基本方針 （1）基本原則 （2）エコツーリズムを含む観光利用の推進にあたって必要な視点	5. 基本方針 （1）基本原則 （2）エコツーリズムを含む観光利用の推進にあたって必要な視点
6. 戦略の対象 （1）戦略の対象となる地域 （2）戦略の対象となる活動	6. 戦略の対象 （1）戦略の対象となる地域 （2）戦略の対象となる活動 （3）戦略の対象となる来訪者
7. 守るべき知床の価値 （1）自然に関する価値 （2）人と自然の関わりについての価値 （3）非日常性から得られる価値	7. 守り、 伝えるべき 知床の価値 （1）自然に関する価値 （2）人と自然の関わりについての価値 （3）非日常性から得られる価値
—	8. 良質な自然体験の提供に必要な要素 （1）来訪者に伝えたいメッセージ （2）来訪者に望まれる体験
8. 将来目標 （1）遺産地域の自然環境の保全とその価値の向上 （2）世界の観光客に対する知床らしい良質な自然体験の提供 （3）持続可能な地域社会と経済の構築	9. 将来目標 （1）遺産地域の自然環境の保全とその価値の向上 （2）世界の観光客に対する知床らしい良質な自然体験の提供 （3）持続可能な地域社会と経済の構築
9. 具体的方策 （1）利用コントロール （2）守るべきルールの設定と指導 （3）情報の発信 （4）ガイドの育成とガイド利用の推奨 （5）文化的資産等の活用 （6）利益の還元 （7）施設整備 （8）モニタリング	10. 具体的方策 （1）利用のゾーニング （2）利用コントロール （3）守るべきルールの設定と指導 （4）情報の発信 （5）ガイドの育成とガイド利用の推奨 （6）文化的資産等の活用 （7）利益の還元 （8）施設整備 （9）モニタリング （10）リスクマネジメント
10. 戦略の実行体制 （1）エコツーリズムを含む観光利用に関する政策決定手順 （2）検討会議の構成と運営	11. 戦略の実行体制 （1）エコツーリズムを含む観光利用に関する政策決定手順 （2）検討会議の構成と運営
11. 見直しの手法、期間	12. 見直しの手法、期間